

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：アスク橋本保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：石川玲子	定員（利用人数）： 80名（92名）	
所在地：〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本1-3-7		
TEL：042-771-9064	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/hashimoto/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス		
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員： 12名	
専門職員	保育士 17名 栄養士（内管理栄養士） 1名（0名） 調理員（内調理師） 4名（0名）	
施設・設備の概要	（居室数）	
	（設備等）	
	（居室数）	鉄骨造り2階建て
	乳児室 3室	建物延べ床面積 534.60㎡
	幼児室 3室	園庭 273.53㎡
	沐浴室 2室	
	調理室 1室	
	トイレ 6室	
	事務室 1室	
	職員休憩室 1室	

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】 「未来（あす）を生きる力を培う」 自分らしく、生きる道を歩み、どんな時代にも対応できる資質と能力を培います。</p> <p>【保育方針】 一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細かな保育を行うことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための、「生涯にわたる生きる力の基礎」を育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら伸びようとする力を支えます。 ・五感を使って感性を豊かにします。 ・後伸びする力を育みます。
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地及び施設の概要】 アスク橋本保育園は、JR横浜線、京王線相模原線橋本駅から徒歩7分の住宅街の中に位置しています。近隣は大型商業地域であり、商業施設のイベントに5歳児が参加</p>

しています。株式会社日本保育サービスが2015年4月に開園した保育園で、0歳児から5歳児まで92名（定員80名）が在籍しています。

【園の特徴】

園目標に、「元気のある子・思いやりのある子・考える力のある子」を掲げています。

食育活動に力を入れ、年齢ごとの食育計画を立てています。2歳児クラスから土に触れ、園庭の畑やプランターでの野菜の栽培、クッキング活動を行なっています。

専門講師による英語、音楽、体操のプログラムがあり、楽しむ心や学ぶ楽しさを育てています。

近隣の小学校と連携・交流しています。校舎内の探検や、授業の見学、休み時間の様子等を見て、小学校の雰囲気を感じる機会を持っています。また、連携して、避難訓練や引き取り訓練を行なっています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年8月1日（契約日）～ 2024年2月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 子どもの食への関心を深める食育活動

年齢別の食育年間計画を立て、2歳児から栽培活動、クッキング保育を行なっています。園庭の畑やプランターの土づくりから始め、ほうれん草、ピーマン、ナス、サツマイモ等を栽培しています。栽培した野菜は、食材として食事に取り入れています。

5歳児クラスが栽培したイエローポップコーンは大豊作で、ポップコーンパーティーを行ない、3、4歳児クラスに差し入れし、1～3歳児クラスには出来立てのポップコーンの香りを差し入れました。

バケツでの稲の栽培、味噌づくり、「きのこもぎ」体験を行ない、栄養士によるさばの解体ショーを実施するなど、子どもの食への関心を高めています。

2. 多様なイベント活動

子どもも職員も楽しめ、体験できるイベントを多く行なっています。相模原市の環境資源局と連携し、「分別戦隊シゲンジャー」が来園し、ごみ分別について楽しく学んでいます。企業の協力を得て、きのこのもぎ取り体験を開催しています。

園で開催する音楽家による木管楽器とピアノの音楽コンサートには、地域の親子も招待しています。

3. 保護者や近隣からの要望や意見への早急な対応

保護者や地域の方からの小さな苦情や要望は「些細な苦情・要望」ファイルに記録し、園長、職員は迅速に対応し、可能な事であれば実行しています。保護者が苦情を申し出やすいようにいつでも相談できることを伝え対応しています。

◇今後期待される点

1. プライバシー保護の考え方を記載したマニュアルの作成

おむつ替えや着替えは、保育室は衝立を立てコーナーを作りその中で行なったり、

トイレの中で行なうなど、子どものプライバシーに配慮していますが、マニュアルはありません。プライバシー保護の考え方や具体的な対応手順等を記載したマニュアルを作成することが期待されます。

2. 散歩での地域との触れ合い

子どもたちは毎日園庭で身体を動かし、戸外活動の時間を持っていますが、園外散歩に出かけるのは月に数回になっています。コロナ禍で制約があったことは否めませんが、コロナ禍後を見据え、日常的に散歩に出かけて地域や社会に触れあう機会を増やすことが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度第三者評価を受審する運びとなり、職員は冷静に自園の足りない部分を知ることができ、全員知っていると思いきや知らない職員もいたなど、周知の甘さに気付くことができました。反対に今まで行ってきた保育で間違いはない。と職員同士喜び合い自信に繋ぐこともできました。

保育士の私たちが楽しめる保育、子どもたちと一緒に心から笑える保育、が好きな職員ばかりが集まっています。

しかし、一日の大半を園で過ごす子どもたちに伝えていかなければならないことがたくさんあります。健康、食事、睡眠、人間関係、言葉、環境、安全、災害など様々な育みを保護者の方々と一緒にの思いで子どもたち一人一人に伝えていくことが必要だと考えます。例え意見の相違があったとしても、すべてに対し早急に話をするのが一番大切であり、子どもたちを保護者の方々と一緒に守っていくという意味であると思っています。

保護者アンケートはたくさんの方々にご協力いただいたことがうれしく、何というあたたかい保護者に恵まれた幸せな園なのだと改めて有難さを知ることができました。

良い点は、職員一同励みとなり今後の保育により一層磨きがかかり子どもたちとの笑顔がより増えると期待できます。そして良い点がずっと続くようにすることが選ばれ続ける園作りへの一歩ではないかと思えます。改善点につきましてはすぐに職員会議で改善方法をまとめ、実践しています。

第三者評価機関の方々に、評価結果報告をしていただくまでの長い期間大変お世話になったこと、ご丁寧な対応をいただけたことに感謝いたします。

アスク橋本保育園 園長 石川玲子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり